- 第 10 回　　リモートセンシング

精密農業を実現するためには、農作物の生育状態を診断して必要に応じた栽培管理を実施することが重要である。成育中の農作物の生育診断では、非破壊・非接触で測定を行うリモートセンシング技術が応用されている。本講義では、圃場で栽培されている農作物の生育量測定に関するリモートセンシング技術について説明する。

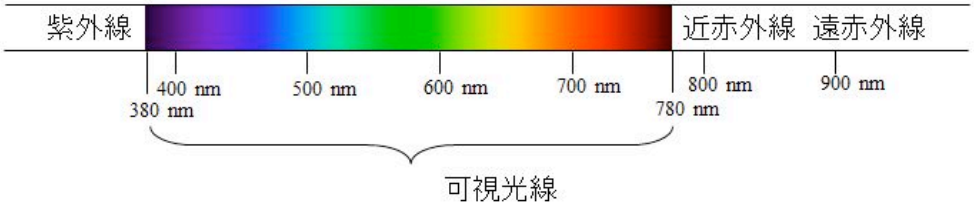
リモートセンシング

- 人工衛星（SPOT5）
- 航空機（マルチスペクトルカメラ，ADS40）
- 航空機（ハイパースペクトルカメラ，AISA+)
  解像度：1m× 1m，400～1000nmの範囲で68バンド
- 地上（ハイパースペクトルカメラ，
  SPECIM，QE10VE，400～1000nm）

植生指数（Vegitation Index）

- 正規化植生指数

Normalized Difference Vegitation Index

$$NDVI=(IR-R)/(IR+R)$$

R:画像データの可視域赤の反射率
IR:画像データの近赤外域の反射率